

*
心を強くする!

ビジュアル伝記

ココ・シャネル
の
ことばと人生

監修 高野てるみ

ポプラ社

わたしは自分の人生が気に入らなかった。
だからわたしは、自分の人生をつくり上げることにした。

8

どんなに退屈な本にも何かしら
言いたいことがあり、真実がふくまれている。

12

だれもわたしに何も教えてくれなかった。
わたしは自分ひとりですべてを覚えた。

16

翼を持たずに生まれてきたのなら、
翼を生やすためにどんなことでもしなさい。

17

生き生きとしていれば、醜いということはない。

19

何よりわたしがいやだったのは、
その帽子が頭に合っていなかったことだ。

22

わたしの頭に、無理やり秩序をおしこむ人たちがきらいだ。

26

わたしは自分が着たい服を着る。
いつだってわたしは、自分の着たい服しかつくらない。

30

わたしは女性の体に自由を取りもどさせた。

35

わたしの愛する人は、わたしがやりたいことを止めたりしない。

38

*ココ・シャネルのプロフィール

ガブリエル・シャネル 生年月日 1883年8月19日(1971年1月10日没)
フランスのファッションデザイナー。彼女が創設した「CHANEL」は、
世界でもっとも有名なファッションブランドのひとつ。

すべてを失くし、ひとりぼっちになったとき、
いつでも相談できる友人を1人持つこと。あとは仕事よ。

42

香水はだれかから贈られるだけでなく、自分のために買うもの。

43

本物は、コピーされる運命にある。

46

「シンプル」を「貧しい」ととらえるなんて、おろかなことだ。

50

20歳の顔は自然から授かったもの。30歳の顔は自分の生きざま。
けれど50歳の顔には、自分の価値がにじみ出る。

51

「こうなりたい」と願い、その通りに実現してきた。

その中で、人にきらわれたり、いやな女になったりしても気にしない。

53

退屈だったから。何もしないより、

チャレンジして失敗するほうがよかったから。

56

モード(流行)ではなく、わたしはスタイルを生み出した。

60

ココ・シャネルの人生

1883年
(生年)

エピソード 1 姉妹でオーバージーヌの修道院へあずけられる 10

エピソード 2 ムーランの寄宿学校へ送られる 14

エピソード 3 寄宿学校を出て、町の婦人服店ではたらきはじめる 20

エピソード 4 バルサンのもので、上流階級のくらしを知る 24

エピソード 5 最愛の人カペルに出会い、帽子店をひらく 28

エピソード 6 ドーヴィルに新しい店をオープン。女性の服も売りはじめる 32

! この本の使い方



この本は、前からでも後ろからでも読むことができます。

前の方では、ココ・シャネルのこぼれ話から生きかたを知り、生い立ちもわかるようになっていきます。後ろの方では、シャネルが生きた時代や、かかわった人など、シャネルのことをいろいろな面から知ることができます。好きな方から読んでみてください。

この本の内容について

- 掲載している「こぼれ話」は、本人が実際に発したことばのほかに、本人あるいは第三者が伝記などの形で書き記したものもあります(文章の一部を抜粋している場合もあります)。また、わかりやすいように、意識して紹介していることもあります。
- 掲載している「こぼれ話」は、いつ発したのかわからない場合も多く、その前後にあるエピソードの時代と必ずしも一致していません。
- 紹介しているエピソードあるいは生没年などには、諸説ある場合がありますが、参考文献等に基づき、比較的知られているものを紹介しています。
- 絵は、ことばや背景の理解を助けるためのイメージです。人生の細部にわたって資料が残っているケースは少なく、想像で補って形にしています。

資料編

クイズでわかる! ココ・シャネル	111	ココ・シャネルが生きた時代	87
クイズでわかる! ココ・シャネル	103	ココ・シャネルを旅しよう	81
ここがすごい! ココ・シャネル	106	もっと知りたい! ココ・シャネル	75
ファッションに革命を起こした	97	参考文献	69
ココ・シャネルとかわった人々	95		

1971年 (没年)

エピソード 7	ジャージー素材の服をつくり、世界に注目される	36
エピソード 8	カペルの結婚。そして永遠の別れ	40
エピソード 9	香水「N°5」を発売する	44
エピソード 10	黒いシンプルな「リトル・ブラック・ドレス」が大人気に	48
エピソード 11	恋人の死。そして第二次世界大戦	54
エピソード 12	スイスへ移住ののち、ふたたびパリへ	58
エピソード 13	偉大なデザイナーの復活	62
	ココ・シャネルの年表	64

わたしは自分が
着たい服を着る。
いつだってわたしは、
自分の着たい服しか
つくらない。

ココ・シャネルはいつも、「自分が着たいかどうか」を
考えて服をつくりました。他人の好みに合わせて好きで
もない服をつくったり、買ってくれる人にこびたりする
ことは、生涯ありませんでした。



ドーヴィルに 新しい店をオープン。 女性の服も売りはじめる



ある夏、ココ・シャネルはカペルとフランスの海辺の町ドーヴィルをおとずれて休暇を楽しみました。やがてカペルは、この町にも店を出そうとシャネルに提案します。ドーヴィルは上流階級の人々がバカンスにおとずれる美しいリゾート地。実業家でもあったカペルは、きつと多くの女性たちがシャネルの帽子を買うだろうと考えたのです。

そこでシャネルは30歳のとき、ドーヴィルにお店を出しました。帽子だけでなく、服も売るお店です。彼女がデザインしたのは、それまでの上流階級好みのドレスではありません。シンプルで体をしめつけず、心地よく過ごせる服。自分が着たい服だけをつくり、シャネル自身がその服を着てドーヴィルの町をさっそうと歩きました。すると、その姿を目にした人々が、こぞって店をおとずれました。

ところが翌年、世界は一変します。第一次世界大戦がはじまったのです。おしやれどころではなくなっただかと思いきや、シャネルの服はこの戦争で思いがけず注目をあびます。戦地へおもむいた男性にかわってはこちらかざるを得なくなった女性たちにとって、体をしめつける長いドレスでは動きがとれません。体を動かしやすく、しかもそれまでにない新しいデザインのシャネルの服は、彼女たちが必要とする服だったので



20世紀を代表するデザイナーへ

第一次世界大戦終結から約20年後の1939年、再度の大戦争「第二次世界大戦」が起きました。1940年にパリはドイツ軍に占領され、ココ・シャネルはついにパリのブティックを閉店せざるを得なくなってしまいます。

1945年に終戦をむかえ、パリが解放されたあと、フランス経済は「栄光の30年間」といわれる爆発的な成長を見せた一方で、シャネルはスイスに移住します。その後、パリにもどり、ファッション界に復帰。シャネルの機能的なファッションはアメリカを中心に世界的な評判を呼び、20世紀を代表するデザイナーとしての評価を確固たるものにしました。

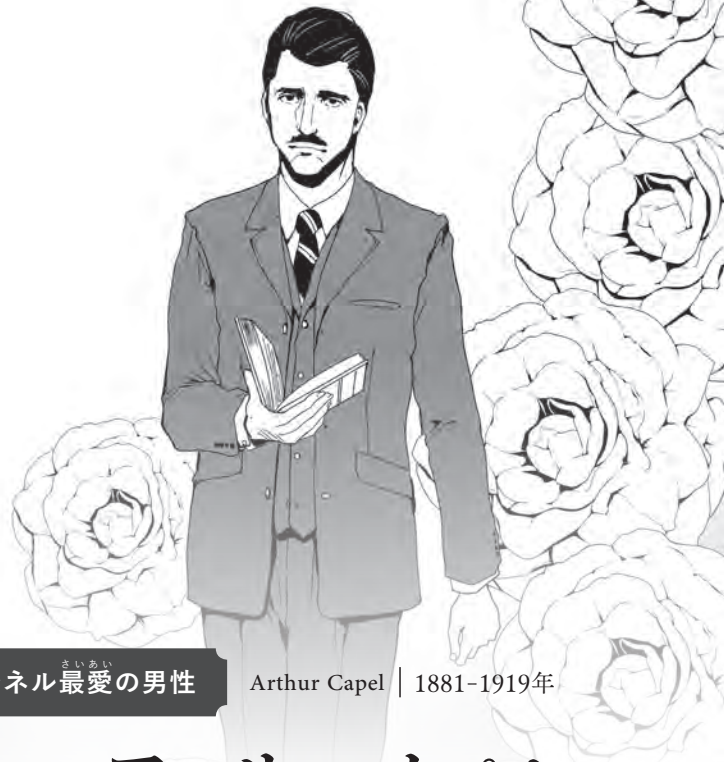
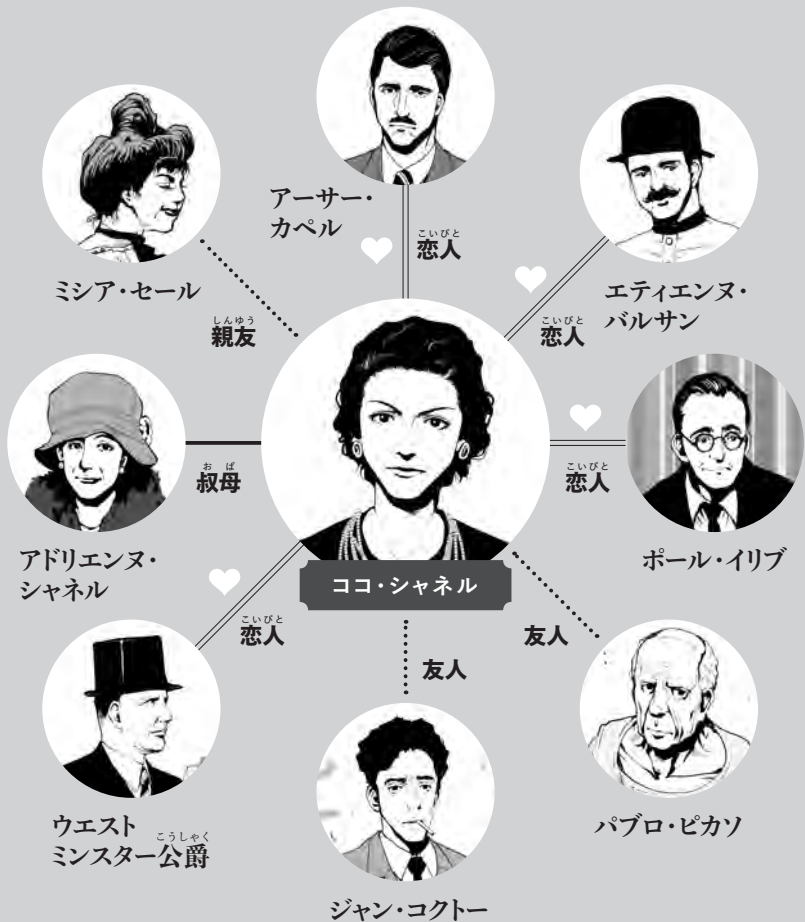


1940年、ドイツ軍の占領を受けたパリ。後方に見えるのは街の象徴である凱旋門。



シャネルのデザインによる機能的なスーツに身をつつんだ、ジャクリン・ケネディ元アメリカ大統領夫人(1963年)。

ココ・シャネルと かかわった人々



シャネル最愛の男性

Arthur Capel | 1881-1919年

アーサー・カペル

イギリスの裕福な実業家で、恋多きココ・シャネルの「最愛の恋人」といわれています。若き日のシャネルに、「新しい時代のエレガンスや教養は、生まれや富ではなく個性だ」と教え、大きな影響をあたえました。シャネルの才能を見出したカペルは、1910年、シャネルのはじめての帽子専門店「シャネル モード」の出資者となりました。しかし1919年のクリスマス直前、シャネルに会いに行く途中、交通事故で亡くなってしまいます。

監修 高野てるみ Terumi Takano

映画プロデューサー、エディトリアル・プロデューサー、シネマ・エッセイスト。株式会社ティー・ビー・オー、株式会社巴里映画代表取締役もつとめる。著書に『仕事と人生がもつと輝くココ・シャネルの言葉』（イースト・プレス）、『ココ・シャネル女を磨く言葉』（PHP文庫）、『職業としてのシネマ』（集英社新書）など多数。

- 編集 株式会社アルバ
- 装画・挿画 惣田紗希
- イラスト 玉置勉強(資料編)
- 文 中島 妙、木村芽久美(資料編)
- 校正 ペーパーハウス
- 写真協力(掲載順) アフロ、photolibrary、Shutterstock、istock、理論社、Gakken、筑摩書房、さくら舎、東京美術、中央公論社、イースト・プレス、オンリー・ハーツ、ワーナー・ブラザーズホームエンターテイメント

心を強くする! ビジュアル伝記01

ココ・シャネルのことばと人生

2022年12月 第1刷

発行者 千葉 均
編集 梶屋洋子
発行所 株式会社ポプラ社
〒102-8519 東京都千代田区麹町4-2-6
ホームページ www.poplar.co.jp
印刷・製本 中央精版印刷株式会社
装丁・本文デザイン bookwall

©POPLAR Publishing Co.,Ltd,2022

ISBN978-4-591-17616-0 N.D.C.289/P112/19cm Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えます。電話(0120-666-553)、またはホームページ(www.poplar.co.jp)のお問い合わせよりご連絡ください。※電話の受付時間は月～金曜日、10時～17時です(祝日・休日は除く)。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

P7234001